



科学の眼

まなこ

発行: 姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話: 079-267-3001)
<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

天文シリーズ

知っているようで知らない 恒星の名前あれこれ

Star names

姫路科学館 学芸・普及担当 松岡友和

科学の眼 (No. 585) 「星に名前をつけるには？」では、天体の名前について紹介していますが、星座をつくる星「恒星」にはどのように名前がつけられているのでしょうか。今回は、恒星のいろいろな名称について紹介します。

表. 主な恒星の名前

恒星の名前	固有名 (英語)	バイエル名	フラムスティード名	主な恒星カタログ番号
ベガ	Vega	α Lyr	3 Lyr	HR 7001, HD 172167, HIP 91262
シリウス	Sirius	α CMa	9 CMa	HR 2491, HD 48915, HIP 32349
イザール	Izar	ϵ Boo A	36 Boo A	HR 5506, HD 129989, HIP 72105
ディフダ	Diphda	β Cet	16 Cet	HR 188, HD 4128, HIP 3419

■恒星の名前①「固有名」

こと座の「ベガ」、おおいぬ座の「シリウス」、オリオン座の「ベテルギウス」……。プラネタリウムでも紹介しているこのような星の名前を**固有名**といいます。

昔から明るく目立った星には、ギリシャ語やラテン語、アラビア語などをルーツに持つ名前（固有名）がつけられていて、私たちもその名前を広く使っています。しかし、これらは数年前まで国際天文学連合 (International Astronomical Union、以下 IAU) が認めた正式な名前ではありませんでした。

そのなかで、IAU は 2015 年に太陽以外の恒星のまわりを回る惑星系に名前をつける「太陽系外惑星命名キャンペーン (NameExoWorlds contest)」を行い、世界中の人々からの提案・投票によって 14 の恒星とそのまわりを回る 31 の惑星に初めて正式な名前がつけられました。これをきっかけに、今まで使っていた恒星の名前についても正式に登録しようと、

IAU のなかに「恒星の名前に関するワーキンググループ(The Working Group on Star Names)」がつけられました。これまで一つの星に複数の名前がついていたり、同じ名前を持つ星が他にもあったりしたものなど、星の名前について歴史的・文化的な背景を踏まえて整理・研究が進められてきました。そして、2016年に初めて「Vega (ベガ)」や「Sirius (シリウス)」などを含む227個の恒星の正式な固有名が決まり、その後2022年4月までに451個の恒星の固有名が公表されています。

しかし、そのなかには今までよく使われていた名前とは違うものが採用されてしまったケースもあります。例えば、くじら座のしっぽの星はよく「Deneb Kaitos (デネブカイトス)」と呼ばれていましたが、正式な名前は「Diphda (ディフダ)」に、うしかい座の二重星は“最も美しいもの”という意味の「Pulcherrima (プルケリマ)」が使われていましたが、アラビア語で“ベール”等を意味する「Izar (イザール)」に決まりました。なお、IAUで決まった固有名はアルファベット表記のみで、日本語でどのように表すか(カタカナ表記)は正式に決まっていません。そのため、うしかい座の1等星「Arcturus」は「アークトゥルス」や「アルクトゥールス」、「アルクトゥルス」などと表記されることがあります。

■恒星の名前②「バイエル名(符号)」と「フラムステッド名(番号)」

恒星の名前には、固有名とは別に、ギリシャ文字と星座名で表す**バイエル名**があります。1603年、ドイツのバイエル(J. Bayer)が、全天星図「ウラノメトリア(バイエル星図)」のなかで用いたもので、星座ごとに、見かけの明るさ順に α 、 β 、 γ 、・・・とギリシャ文字(足りなくなった場合はアルファベットの小文字や大文字を使用)を使って表します。ベガは「こと座 α 星」、または星座の略称を使って「 α Lyr」となります。

その後、イギリスでは1675年にグリニッジ天文台が設立され、初代台長のフラムステッド(J. Flamsteed)は望遠鏡を使った星の位置観測を行い、その結果を赤経順(星図の西から東)にまとめました。18世紀になると、これをもとに各星座内の恒星を赤経順に1から番号をつけて星座名と一緒に表す方法が登場し、彼の名前にちなんで**フラムステッド名**と呼ばれています。ベガは「こと座3番星(3 Lyr)」と表されます。

ただし、当時の観測技術等のため、必ずしも明るさや赤経順になっていなかったり、星の並びを優先したり、恒星以外にも命名されたりと例外も多くあります。またその後、星座やその境界が変更になったことで使われなくなったものや、イギリスから観測できなかった南天の星にはフラムステッド名がついていないこともあります。

■恒星の名前③「恒星カタログ(星表)番号」

恒星の名前は他にも、星の位置や明るさ、スペクトル型など、目的によってまとめられた恒星カタログを使って、そのカタログ名と番号でも表されます。例えば、イエール大学天文台の「ブライトスターカタログ、略称BS」(「ハーバード改訂光度カタログ、略称HR」の番号を引き継いでいるのでHRも使われる)や「ヘンリー・ドレイパーカタログ、略称HD」、位置天文衛星「ヒッパルコス」による星表(略称HIP)などがあります。